

大嶋 一広

税理士法人田中会計 税理士

(社会人16年目)

【取材日：2025.12.18】



現在のお仕事について教えてください

富山事務所のチームリーダーとして、クライアントである中小企業の税務申告、課題解決支援を行っています。普段からクライアントのお話を聞き、一緒にお悩みに寄り添い、信頼関係を築くことを大切にしています。

富山大学で学ぶきっかけ

小さい頃、弁護士さんになりたいと思っていた時期がありました。テレビなどで見て、漠然とかっこいいという印象を持っていました。地元である富山で、以前興味があった法律を学べる富山大学経済学部経営法学科に進学しました。

地道な努力をする経験

課外活動では、富山大学吹奏楽団に入っていました。全国大会出場を目指していました。予選を突破することがなかなかできず、自分たちの代に代わったタイミングで有名な先生を呼んで指導してもらいました。体感として手ごたえがありました。僕たちの次の代は全国大会出場までたどり着けました。現在では富山大学は全国大会の常連校になっています。吹奏楽は地味で苦しい練習も多いです。それを続けることで綺麗な音を出せるようになります。学生時代、真剣に取り組んだ吹奏楽で継続する力が身に付きました。

Profile

富山県出身。富山県立砺波高等学校出身。
2006年、富山大学経済学部経営法学科に入学。
在学中は吹奏楽団に所属し、全国大会を目指し活動をしていた。
就職活動中に税理士を目指そうと考える。2010年4月に税理士法人田中会計に入社。2019年に資格を取得し、より一層業務の範囲が増え、やりがいを感じている。プライベートでは、トランペットを吹くことと猫に癒されていることで幸せを感じている。

大学で学んだことを活かす士業

資格系に興味があったので、大学の授業では簿記をとっていました。在学中にリーマンショックがあり、就職氷河期になりました。自分で生きていくスキルを身に付けたいと思うようになりました。大学で学んだ簿記と、法律学の勉強の両方を生かせる税理士を目指そうと考えました。

働きながら税理士資格を取得

大学卒業後に現在の田中会計の社員として企業巡回する傍ら勉強しました。資格取得のためには試験勉強に加え、実務経験が必要になります。2019年に税理士資格を取得しました。より責任の重い仕事を任せてもらえるようになりました。税理士といえば税金の専門家というイメージが一般的ですが、本来は企業や個人の経営を支え、成長に貢献する非常にやりがいのある職業です。経営者の相談相手として事業継承やM&A、資金調達、相続対策などに密接に関わり、人の人生や会社の未来に深く関わることが出来ます。

高校生へのメッセージ

机の上の勉強も大切ですが、今のうちに挑戦できることを目いっぱいやってほしいと思います。若者がチャレンジしやすくなっている学生起業や、海外旅行など若い感性でたくさんのことを吸収してほしいです。一緒に富山を盛り上げましょう！